

## 授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) コミュニケーション技術	授業の種類 (講義)	授業担当者 金子 安岐子	
授業の回数 30コマ	時間数 (単位数) 60時間	配当学年・時期 1年通年	講師の実務経験 (有) ・ 無
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションの基礎的な知識を基盤に、本人及び家族とのよりよい関係性の構築や障害の特性に応じたコミュニケーションの基本的な知識・技術を習得する。</li> <li>・介護におけるチームのコミュニケーションについて、情報共有の意義、活用、管理などに関する基本知識・技術を習得する。</li> </ul> <p>[授業全体の内容の概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護におけるコミュニケーションの基本</li> <li>・コミュニケーションの基本技術</li> <li>・特性に応じたコミュニケーション</li> <li>・家族とのコミュニケーション</li> <li>・介護におけるチームのコミュニケーション</li> </ul> <p>[授業修了時の達成課題 (到達目標)]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションの意義と目的を理解する</li> <li>・傾聴・受容・共感の大切さを理解する</li> <li>・コミュニケーションに関するアセスメントの方法を理解する</li> <li>・家族の意向をどう表出し支援していくかを理解する</li> <li>・多職種協働チームにおけるコミュニケーションの意義と目的を理解する</li> </ul>			
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <p>コマ数</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 介護におけるコミュニケーションとは・展開過程</li> <li>2 介護におけるコミュニケーションの対象</li> <li>3 援助関係とコミュニケーション</li> <li>4 援助関係の構築・援助関係を意識したコミュニケーション</li> <li>5 態度に関する基本技術・受容と共感</li> <li>6 言語・非言語・準言語コミュニケーションの基本</li> <li>7 目的別コミュニケーション</li> <li>8 意思決定を支援するためのコミュニケーション</li> <li>9 集団におけるコミュニケーション</li> <li>10 コミュニケーション障害とは</li> <li>11 視覚障害のある人への支援</li> <li>12 聴覚障害のある人への支援</li> <li>13 構音障害のある人への支援</li> <li>14 失語症の人への支援</li> <li>15 定期試験、振り返り</li> </ol>			

- 16 認知症の人への支援
- 17 うつ病・抑うつ状態の人への支援
- 18 統合失調症の人への支援
- 19 知的障害のある人への支援
- 20 発達障害のある人への支援
- 21 高次脳機能障害のある人への支援
- 22 重症心身障害のある人への支援
- 23 家族との関係づくり・家族支援
- 24 介護におけるチームコミュニケーション
- 25 報告・連絡・相談の技術
- 26 記録の技術
- 27 会議・議事進行・説明の技術
- 28 事例検討に関する技術
- 29 情報活用と管理のための技術
- 30 定期試験、振り返り

[使用テキスト・参考文献]

最新・介護福祉士養成講座5 『コミュニケーション技術』 中央法規出

[単位認定の方法及び基準]

(試験やレポートの評価基準など)

授業態度、小テスト

定期試験

\* 評価基準は評価記入用紙による